

令和4年度
小学校教育課程研究協議会
生活科

- 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 2 指導と評価の一体化
- 3 グループ別協議

令和4年7月27日（水）
オンライン開催

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

園での生活（お店ごっこ）

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり



思考力の芽生え

自然への関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現


お店ごっこをする様子を、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに捉えてみましょう。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

生活科の特質

年間や、単元などの内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、児童が具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動の充実を図ることとし、校外での活動を積極的に取り入れること。

学習指導要領解説生活編52頁 第4章「1 指導計画作成上の配慮事項」1(1)

- 
- ・「年間」～を見通す
 - ・「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かす
 - ・「自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動」を行う

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

生活科の特質

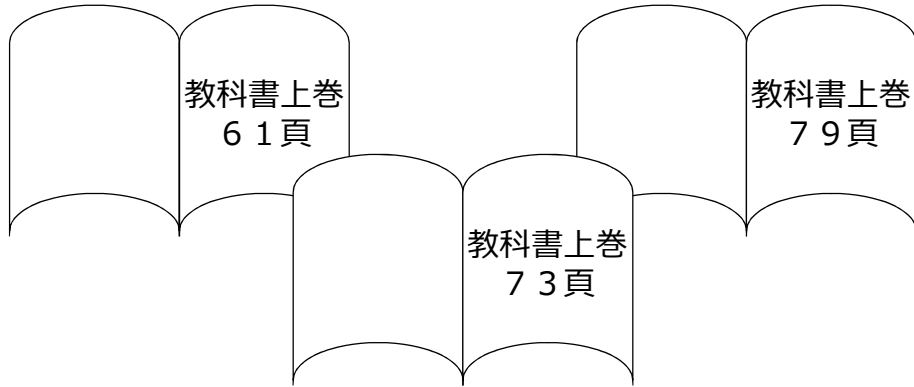
- ・「年間」～を見通す
生活科の特質による固有なものであり、生活科の教科目標で示された「自立し生活を豊かにしていくための資質・能力」は、一つ一つの単元や年間を通した授業の積み重ねによって総合的に育成されていくことを意味している。
- ・「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かす
身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする
- ・「自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動」を行う
自分も地域の人々、社会及び自然の中で生活している者の一人であり、よりよい生活者になることを願って生活している者として、地域の人々、社会及び自然などを捉えること

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

身近な生活に関わる見方・考え方

・「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かす

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする



1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

深い学び

～自分自身や自分の生活について考え、表現することにより、**気付きの質が高まり、対象が意味付けられたり価値付けられたりする**ならば、身近な人々、社会及び自然は自分にとって一層大切な存在になってくる。このような「深い学び」の実現こそが求められるのである。

15頁 第2章「第1節 教科目標」3(2) 解説

～「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かした学習活動が充実することで、**気付いたことを基に考え、新たな気付きを生み出し関係的な気付きを獲得する**などの深い学びを実現するようにする。

94頁 第5章「第4節 学習指導の進め方」解説

～**気付きの質の高まりは、満足感、成就感、自信、やり甲斐、一体感などの手応えとなり、次の体験への安定的で持続的な意欲につながっていく**ことになる。生活科においては、気付きの質の高まりが深い学びであると捉えることができる。

77頁 第5章「第1節 生活科における指導計画と学習指導の基本的な考え方」2 解説

↓

深い学び = 気付きの質の高まり

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

気づきの質の高まり

- ・無自覚だった気づきが自覚される
- ・一人一人に生まれた個別の気づきが関連付けられる
- ・対象のみならず自分自身についての気づきが生まれる

- ・集団生活になじみ、集団における自分の存在に気付く
- ・自分のよさや得意としていること、また、興味・関心をもっていることなどに気付く
- ・自分の心身の成長に気付く

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

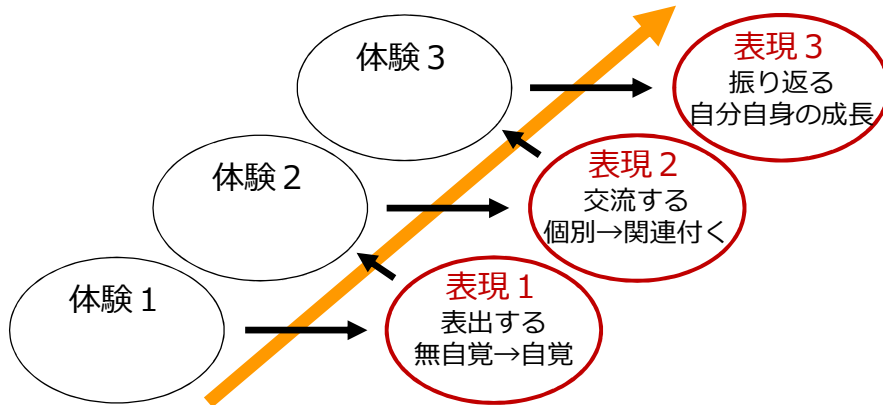
気づきの質を高める手立て

- ・気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法により表現する。
- ・見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うことにより、考える。

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

表現し、気づきの質を高めるイメージ

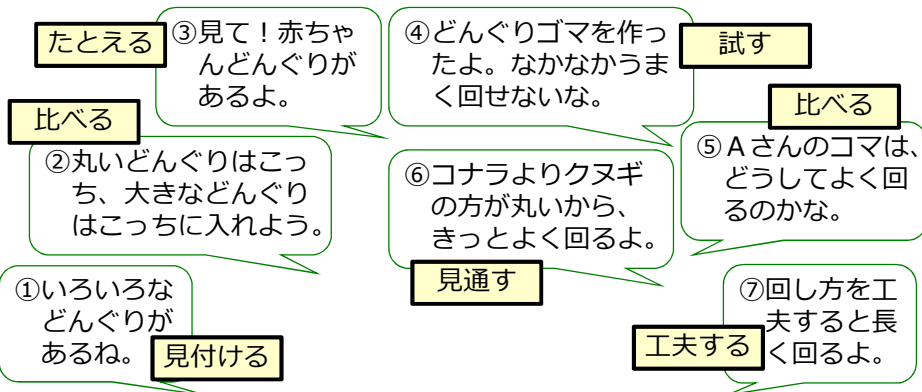
- ・気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法により**表現する**。



1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

考え、気づきの質を高めるイメージ

- ・見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うことにより、**考える**。



1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

I C T の活用

学習活動を行うに当たっては、コンピュータなどの情報機器について、その特質を踏まえ、児童の発達の段階や特性及び生活科の特質などに応じて適切に活用するようにすること。

学習指導要領解説生活編 70頁 第4章「2 内容の取扱いについての配慮事項」(4)

〈I C T の特質 (例)〉

- ・学習対象と教室を静止画でつなぐ。
- ・学習対象と教室を動画でつなぐ。
- ・音で学習環境をつくる。
- ・教育資源と教室を通信でつなぐ。
- ・静止画や動画等の情報を、いつでも、どこでも、繰り返し振り返って学習を深める。
- ・児童一人一人が保存・蓄積した情報で、児童同士の対話を促す。

〈低学年の児童の発達の特性〉

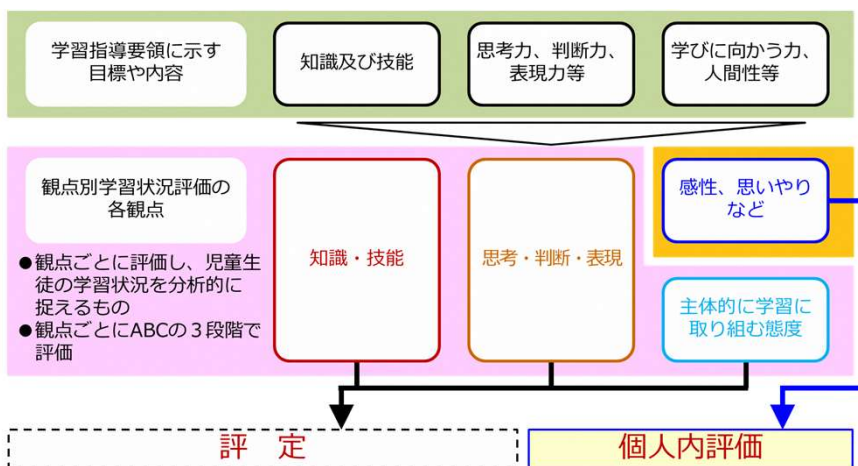
- ・人、社会、自然を一体的に感じ取り、自分との関わりで捉える。
- ・情報機器の操作に戸惑う。

〈生活科の特質〉

- ・「年間」～を見通す
- ・「身近な生活に関わる見方・考え方を生かす
- ・「自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動」を行う

2 指導と評価の一体化

各教科における評価の基本構造

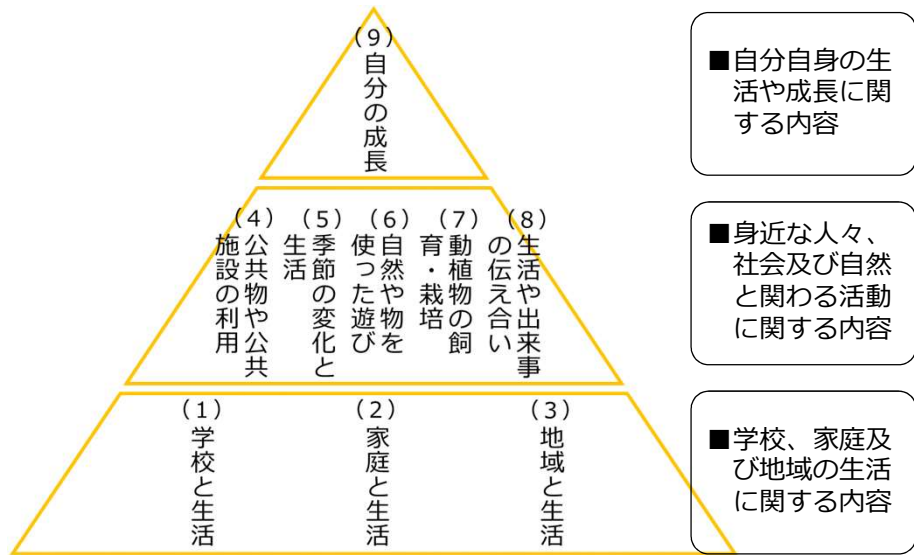


- 観点別学習状況の評価の結果を総括するもの。
- 5段階で評価（小学校は3段階。小学校低学年は行わない）

- 観点別学習状況の評価や評定には示しきれない児童生徒の一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するもの。

2 指導と評価の一体化

生活科の内容のまとめり



2 指導と評価の一体化

「内容のまとめり」の構成

(5) 季節の変化と生活

身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

- ・～を通して（具体的な活動や体験）、
- ・～ができ（思考力、判断力、表現力等の基礎）、
- ・～が分かり・～に気付き（知識及び技能の基礎）、
- ・～しようとする（学びに向かう力、人間性等）。

次の「内容のまとめり」の記述を、色分けしてみましょう。

- ・ 学習指導要領解説 38ページ (5) 季節の変化と生活
- ・ 41ページ (6) 自然や物を使った遊び

2 指導と評価の一体化

内容のまとめりごとの評価規準

(5) 季節の変化と生活

身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けている。	身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとしている。

2 指導と評価の一体化

内容のまとめりごとの評価規準

(6) 自然や物を使った遊び

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

「(6) 自然や物を使った遊び」の「内容のまとめりごとの評価規準」を作成してみましょう。

2 指導と評価の一体化

評価の進め方

1 単元の目標を作成する



2 「単元の評価規準」及び
「小単元における評価規準」を作成する



3 「指導と評価の計画」を作成する



授業を行う



4 観点ごとに総括する

2 指導と評価の一体化

単元の目標

内容

(5) 季節の変化と生活

(6) 自然や物を使った遊び

単元の目標 (例)

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりして、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

「単元の目標」の構成について気付いたことを、チャットで回答してみましょう。

2 指導と評価の一体化

単元の評価規準

単元の目標（例）

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりして、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付いている。	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりしている。

2 指導と評価の一体化

小単元における評価規準

小単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	①校庭や公園の秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気付いている。	①楽しみたい遊びを思い描きながら、校庭や公園の秋の自然の中から遊びに使う物を選んでいく。 ②諸感覚を生かして、校庭や公園の秋の自然に関わっている。	①秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもって、校庭や公園の秋の自然と繰り返し触れ合おうとしている。
2	②校庭や公園の秋の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びを創り出したりすることの面白さに気付いている。	③遊びの約束やルールなどを工夫しながら、遊んでいる。 ④比べたり、たとえたり、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。	②校庭や公園の秋の自然の様子や特徴に応じながら、それらに関わろうとしている。
3	③みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。 ④遊びには約束やルールが大切なことやそれを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。		③みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、毎日の生活を豊かにしようとしている。

2 指導と評価の一体化

評価規準の作成のポイント

小単元	知識・技能	
1	①校庭や公園の秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気付きが自覚される (①) ・ 個別の気付きが相互に関連付く (②) ・ 対象のみならず自分自身についての気付きが生まれる (④) ことを気付きの質の高まりとして見取る。
2	②校庭や公園の秋の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びを創り出したりすることの面白さに気付いている。	
3	③みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。 ④遊びには約束やルールが大切なことやそれを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。	

【知識】
・ ○○に気付いている。○○が分かっている。

【技能】
・ △△において (の際)、□□している。

※ □□には、学習指導要領解説生活編 14頁に示した習慣や技能を参考にして、具体を記述する。

2 指導と評価の一体化

評価規準の作成のポイント

小単元	知識・技能	
1	①校庭や公園の秋の自然の様子や特徴、夏から秋への移り変わりに気付いている。	本単元で取り上げられている、生活上必要な習慣や技能は何でしょうか。学習指導要領解説14頁を参考にして、書き出してみましょう。
2	②校庭や公園の秋の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びを創り出したりすることの面白さに気付いている。	
3	③みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。 ④遊びには約束やルールが大切なことやそれを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。	

習慣	
技能	

2 指導と評価の一体化

評価規準の作成のポイント

小単元	思考・判断・表現	
1	①楽しみたい遊びを思い描きながら、校庭や公園の秋の自然の中から遊びに使う物を選んでいる。 ②諸感覚を生かして、校庭や公園の秋の自然に関わっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・見付ける、比べる、たとえば、などと示された分析的に考えること ・試す、見通す、工夫する、などと示された創造的に考えることを踏まえる
2	③遊びの約束やルールなどを工夫しながら、遊んでいる。 ④比べたり、たとえば、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇して（しながら）、△△している。 <p>※〇〇には、具体的な学習活動において期待する思考を記述する。</p> <p>見付けて（思い起こして、感じて…） 比べて（特徴でまとめながら…） たとえて（知っていることで表し…） 試して（実際に確かめながら…） 見通して（思い描き、振り返って…） 工夫して（生かしながら、見直し…）</p>
3		

2 指導と評価の一体化

評価規準の作成のポイント

小単元	主体的に学習に取り組む態度	
1	①秋の自然を楽しみたいという思いや願いをもって、校庭や公園の秋の自然と繰り返し触れ合おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強さ…思いや願いの実現に向かおうとしていること（①） ・学習の調整…状況に応じて自ら働きかけようとしていること（②） ・実感や自信…意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすることを繰り返し、安定的に行おうとしていること（③） <p>などを踏まえる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇し、△△しようとしている。 <p>※〇〇には、「粘り強さ」「学習の調整」「実感や自信」に関して具体的に表したものを記述する。</p>
2	②校庭や公園の秋の自然の様子や特徴に応じながら、それらと関わろうとしている。	
3	③みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、毎日の生活を豊かにしようとしている。	

2 指導と評価の一体化

指導と評価の計画

小単元名 (時間)	学習活動	評価 規準	評価方法
1 秋の宝物 をみつけ よう (5)	<ul style="list-style-type: none"> 校庭で秋見付けをする。 秋について知っていることや園などで経験したことのある遊びなどを出し合う。 校庭や公園などで秋見付けを繰り返し行ったり、気付いたことを自分なりの方法で表したりする。 	態① 思① 知① 思②	行動観察、発言分析 発言分析 行動観察、発言分析
2 秋の宝物 でつくっ て遊ぼう (8)	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然を利用して遊ぶ。 秋の自然や身近にある物を利用して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、作った物を使って遊んだりする。 	知② 思③ 思④ 態②	行動観察、発言や振り返りの記述の分析 行動観察、発言や振り返りの記述、表現物及び日記の分析
3 秋の宝物 でみんな で遊ぼう (4)	<ul style="list-style-type: none"> 「あきまつり」を開いて、みんなで楽しく遊ぶ。 これまでの活動を振り返り、秋の思い出や秋の自然と自分との関わりなどについて、言葉や絵で表現したり、伝え合ったりする。 	知③ 知④ 態③	行動観察 行動観察、発言や振り返り及び表現物の分析 行動観察、発言や表現物及び日記の分析

2 指導と評価の一体化

児童の姿と評価

小単元名 (時間)	学習活動	評価 規準	評価方法
2 秋の宝物 でつくっ て遊ぼう (8)	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然を利用して遊ぶ。 秋の自然や身近にある物を利用して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、作った物を使って遊んだりする。 	知② 思③ 思④ 態②	行動観察、発言や振り返りの記述の分析 行動観察、発言や振り返りの記述、表現物及び日記の分析

思考・判断・表現

④比べたり、たどったり、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。

児童にどのような姿が見られたら、「B：おおむね満足できる」状況であると評価しますか。チャットで回答してみましよう。おもちゃの具体については、みなさんの経験から決めてください。

2 指導と評価の一体化

児童の姿と評価

〈評価規準〉

比べたり、たとえたり、試したり、見通したりしながら、遊びを楽しんでいる。【思考・判断・表現】



〈児童の姿の想定と評価方法（例）〉

- ①遊びに使う物について、前回と今回、友達と自分などを比べながら、遊びを楽しんでいる。
 - ②因果関係などを見通すとともに、繰り返し試しながら、遊びを楽しんでいる。
 - ③秋の自然のよさを生かし、いろいろなものにたとえながら、遊びを楽しんでいる。
 - ④いろいろな約束やルールなどを試しながら、遊びを楽しんでいる。
- ※いずれも、行動観察、発言や振り返りの記述及び遊びに使う物の分析による。

2 指導と評価の一体化

児童の姿と評価

次のような〈児童の姿〉に対して、前頁の〈児童の姿の想定〉に照らして、どのように評価しますか。

「A：十分満足できる」と判断する人は、その理由も、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」と判断する人は、「A」もしくは「B」の姿に高めるために、どのような指導・援助を行うかも考えてみましょう。

〈児童の姿〉

A児は、どんぐりを弾いて的当てをする「どんぐりボウリング」をして遊んだ。「この飛ばし方なら奥まで届くかな?」、「こっちのどんぐりの方が、真っすぐに飛ぶかもしれない。」と予想をし、ねらったところに飛ばすことができるよう繰り返し試していた。

3 グループ別協議

〈協議題〉 I C T の活用と授業改善

- (1) 単元指導計画と学習展開の概要の説明
- (2) I C T の活用のメリット
- (3) I C T の活用にあたっての配慮事項
- (4) その後の評価と授業改善に、どのようにつなげたか。(つなげるか。)



本日の研修を受けて、
今後、授業改善として取り組みたいこと